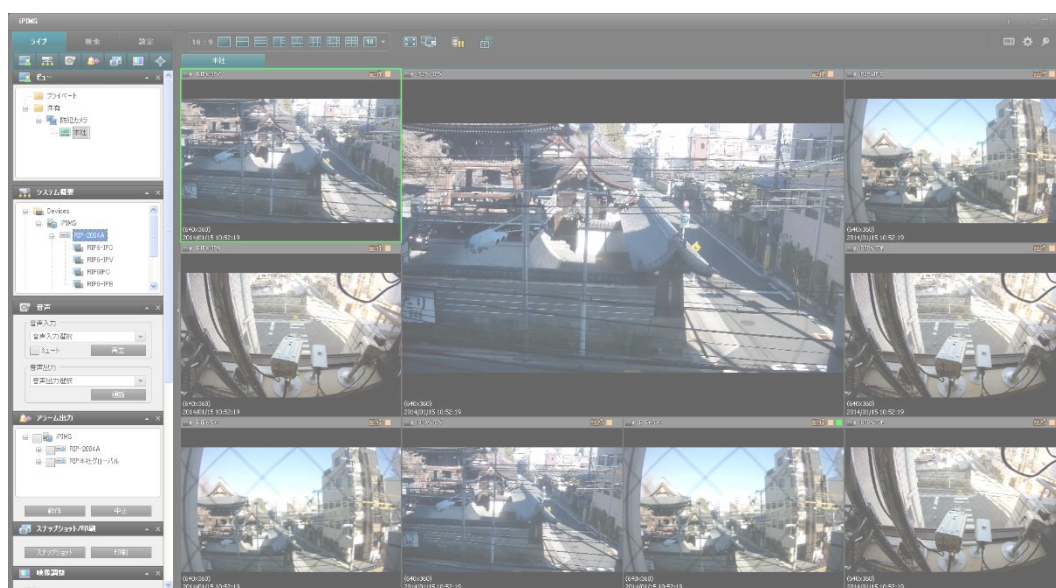




QVMS導入マニュアル
2022年5月20日 初版
No.001

お客さま各位

DVR統合管理ソフト「QVMS」 導入マニュアル



■ 本社

京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町22番地2

TEL:075-354-3372 FAX:075-354-3382



本社・営業部 北海道営業所 東日本支店 中日本営業所
 西日本支店 中四国営業所 九州営業所

Confidential

大切なものがあるから



QVMSは、レコーダーの管理・設定を一元管理する統合管理環境(CMS)です。
弊社製レコーダー、および弊社製IPカメラのライブ映像を視聴する事が可能です。
レコーダーの記録映像の検索・再生や、映像のバックアップも可能です。
さらにはアラーム/センサー連動表示機能、E-Map機能も搭載した大規模監視・防犯
センター向けの高性能CMSソフトです。

対応機種(2022年5月20日現在)

- ・KB-AHRxxCシリーズ
- ・KB-AHRxxDシリーズ
- ・KB-IRIPxxAシリーズ

機能(バージョン2.1.8.0)

- ・画面表示 最大64分割表示、シーケンス表示、マルチモニター対応
- ・ライブ画面 デジタルズーム、PTZ操作、スナップショット、音声双方向通信、
イベントポップアップ、遠隔接点出力制御、E-Map表示
- ・検索・再生 時間検索、イベント検索、最大64倍速再生、映像バックアップ
- ・設定 遠隔設定、パスワード設定、ユーザー利用制限

PC推奨仕様 ※本ソフトウェアは、下記仕様のPCにインストールしてください。

- ・CPU Intel(R) Core i5 2GHz以上
- ・メモリ 4GB以上
- ・ネットワーク 100BASE-T以上
- ・グラフィックカード 1920×1080、キャッシュ256MB以上
- ・HDD 空き容量1GB以上
- ・OS Windows10、Windows11
- ・その他 DirectX 10以上インストール





目次

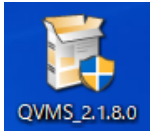
I ソフトウェアのインストール、起動	4
II 日本語設定	6
III 接続先の設定	7
IV ライブ画面	
表示切替	12
ビュー選択	13
カメラ選択	14
音声入出力	15
スナップショット	16
映像調整	17
PTZ操作	18
V 検索・再生	19
VI バックアップ	21
VII パスワードの変更	22
VIII ソフトの終了・再開	25





I ソフトウェアのインストール、起動(1/2)

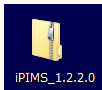
1. 製品に付属のUSBメモリーまたは弊社ホームページから、「QVMS」のインストーラーをダウンロードします。



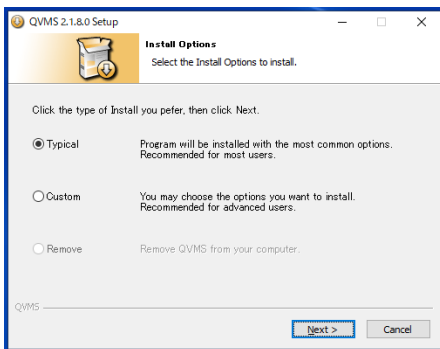
※2022.5.20現在の最新バージョンは「QVMS_2.1.8.0」です。



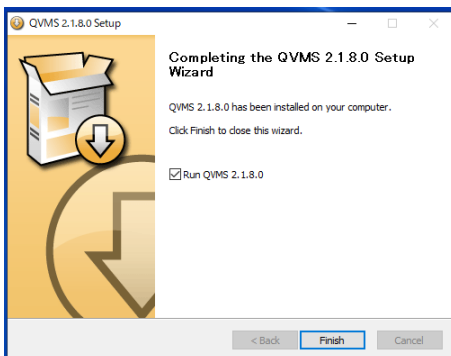
2. 「QVMS_xxxxxxx.exe」ファイルを開きます。



3. 「iPIMS_xxxxxxx.zip」ファイルを開きます。
「Typical」を選択し、「Next >」をクリックします。



4. 画面の流れにしたがってセットアップを実行します。
インストール完了後は、「Finish」をクリックしてください。その後、自動的にQVMSが起動します。



5. 「Windowsセキュリティの重要な警告」が表示された場合は、かならず「アクセスを許可する」をクリックしてください。



※操作画面は全てWindows10での画面となります。





I ソフトウェアのインストール、起動(2/2)

7. ログイン画面が表示されるので、IDとパスワードを入力します。

ユーザーIDを入力します。
初期ID: ADMIN

パスワードを入力します。
初期パスワード: 1234

入力完了後 “OK” クリックしてします。

8. 新規のパスワードを設定します。
パスワードは、大文字、小文字、数字、特殊文字の5つを含む8～16字で構成する必要があります。

新しいパスワード・・・次回以降のログインパスワードを入力します。
新しいパスワード(確認)・・・新しく入力したパスワードと同じ内容を入力します。

※パスワードは必ずメモを取る等をし、大切に保管してください。

9. 上記で設定したパスワードを入力後、「OK」をクリックしてログインします。

※インストール後はデスクトップにショートカットが生成されます。
次回以降はショートカットより起動してください。

《注意》

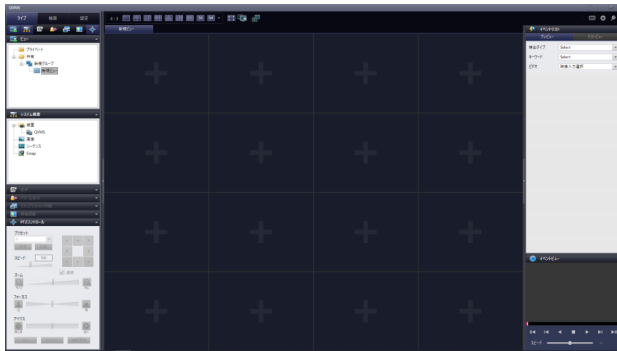
お使いのPCのディスプレイ拡大率は100%以外に設定しないでください。
100%以外の設定にした場合、ディスプレイによっては画面が正常に表示できない場合があります。





II 日本語設定

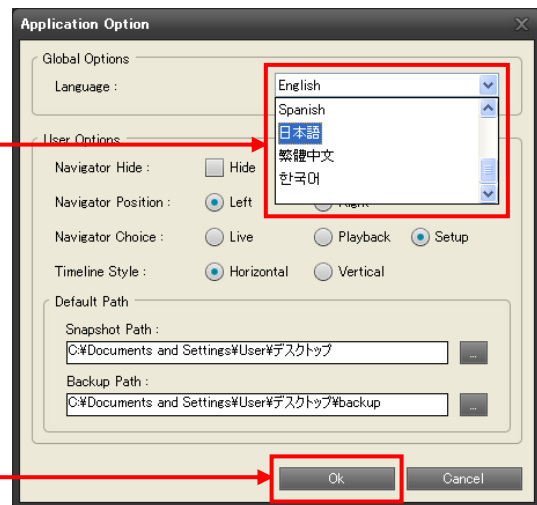
1. QVMSの画面右上の設定アイコンをクリックします。



設定アイコンをクリックすると、
ウィンドウが表示されます。



2. 「Language」のプルダウンメニューから
“日本語” を選択します。

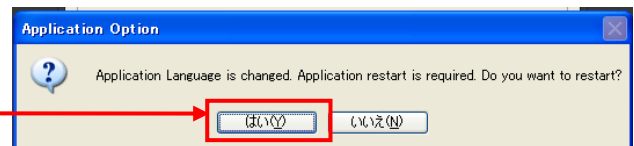


3. “OK” を選択します。

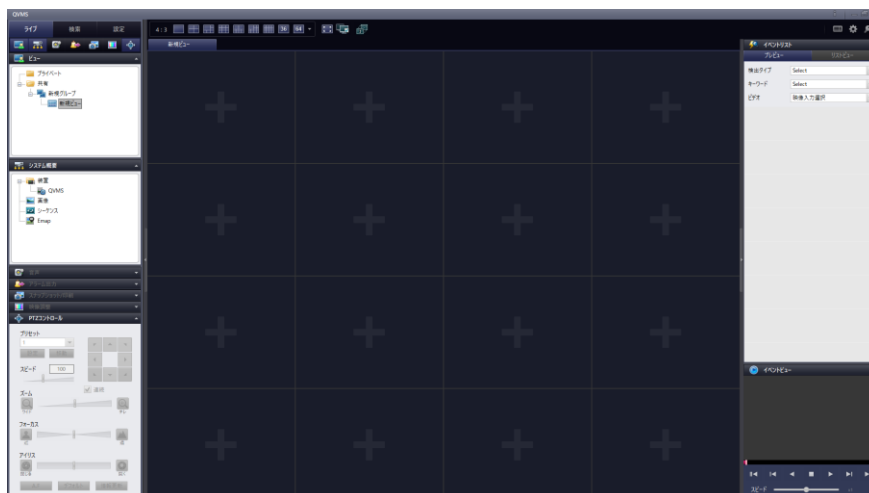
OKをクリックすると、メッセージが
表示されます。



4. “はい” を選択します。
※自動的にQVMSが再起動されます。



5. 再起動後、画面上の文字が日本語で表示されます。





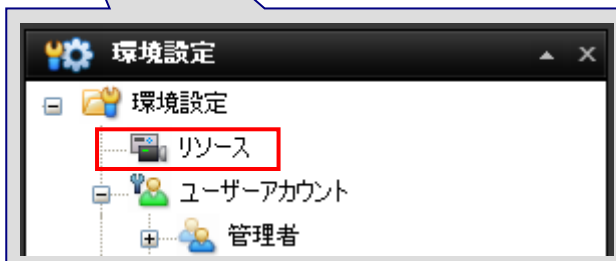
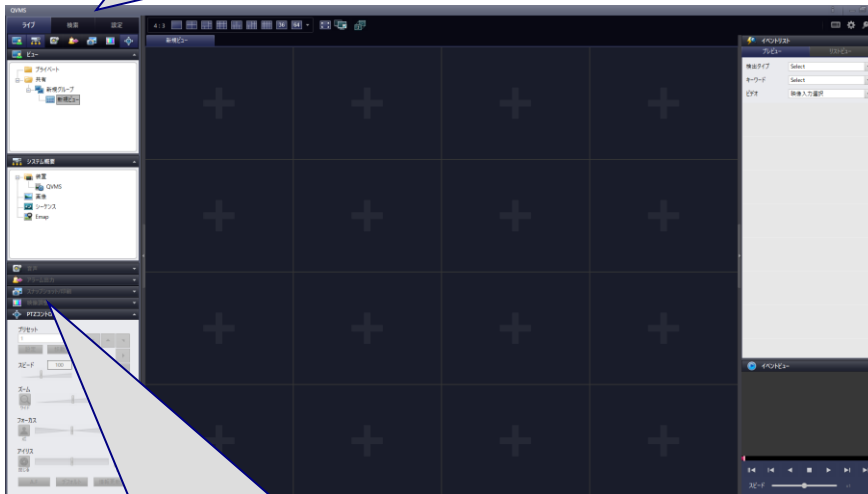
Ⅲ 接続先の設定(1/5)

1. 画面左上のアイコンから下記をクリックします。



初めに“設定”をクリックします。

次にこのアイコンをクリックします。
(色がついた状態にします。)



2. 「環境設定」ウィンドウ内の“リソース”をクリックします。



3. 下のような画面が表示されます。





Ⅲ 接続先の設定(2/5)

4. 画面右下の“追加”をクリックします。



設定ウィンドウが表示されます。

5. 各項目に必要な事項を入力します。

デバイス名
機器の名称(または建物名など)を任意に入力します。

モデル
機器のモデル名を選択します。詳細は下記の対応表を参照してください。

ID
接続先機器のユーザーIDを入力します。

パスワード
接続先機器のパスワードを入力します。

装置登録 ✕

デバイス名	KB-AHR04D
モデル	H.264 DVR & H.265 DVR
メディアプロトコル	RTP on TCP
IPアドレス	192.168.200.100
ポート	80
ID	ADMIN
パスワード	●●●●●●

自動接続

チェックを入れると、iPIMSを起動時に自動的に接続します。

OK
キャンセル

IPアドレス
機器のIPアドレスを入力します。
※DDNSを利用している場合は、ドメイン(xxx.dvrlink.netなど)を入力します。

ポート
機器のWEBポート番号を入力します。

入力完了後“OK”をクリックして設定を終了してログインします。

※「モデル」に表示される名称は弊社の型式と異なります。下記の対応表を参照し、正しいモデル名を選択してください。

モデル名対応表

分類	弊社型式	選択するモデル名
デジタルビデオレコーダー (H.264/H.265)	KB-AHRxxCシリーズ KB-AHRxxDシリーズ	H.264 DVR & H.265 DVR
ネットワークビデオレコーダー	KB-IRIPxxAシリーズ	NVR





Ⅲ 接続先の設定(3/5)

6. 画面右下の“適用”をクリックします。

番号	デバイス名	モデル	IPアドレス	ポート	自動接続	デバイス状態	映像CH	音声チャンネル	アラームチャンネル
1	KB-AHR04D	H.264 DVR & H.265 DVR	192.168.200.31	8031	<input checked="" type="checkbox"/> オート	接続完了	8	4 / 1	4 / 1

7. 下記のように、設定した内容がリストに追加されます。

番号	デバイス名	モデル	IPアドレス	ポート	自動接続	デバイス状態	映像CH	音声チャンネル	アラームチャンネル
1	KB-AHR04D	H.264 DVR & H.265 DVR	192.168.200.31	8031	<input checked="" type="checkbox"/> オート	接続完了	8	4 / 1	4 / 1

デバイス状態
接続完了

デバイス状態が“接続完了”になっていれば設定完了です。これ以外の状態になっていればIPアドレス等の設定を見直すか、または接続する機器の状態を確認してください。





Ⅲ 接続先の設定(4/5)

8. 画面左の「ビュー」ウィンドウにて、下記のように新規グループを作成します。

① “共有” をクリックします。

② グループ追加アイコンをクリックします。

③ 新たな項目が追加されるので、グループ名を入力します。
例)「防犯カメラ」、「ライブ監視用」など

9. 下記のように新規ビューを作成します。

① ビュー追加アイコンをクリックします。

② 画面レイアウトを選択します。
※「4:3」を選択した場合は最大64分割、「16:9」を選択した場合は最大18分割となります。

画面レイアウトを選択すると、新規ビューが追加されます。

③ 新たな項目が追加されます。

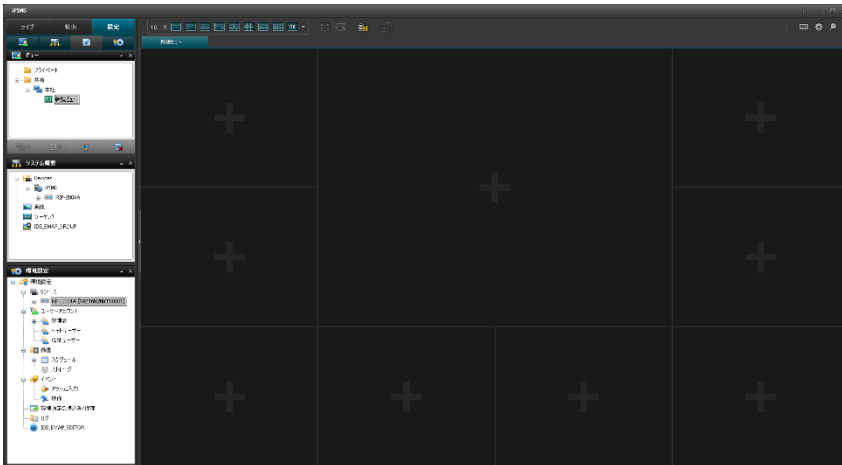
④ このアイコンをクリックし、ビュー名称を入力します。
例:「本社」、「京都店」など



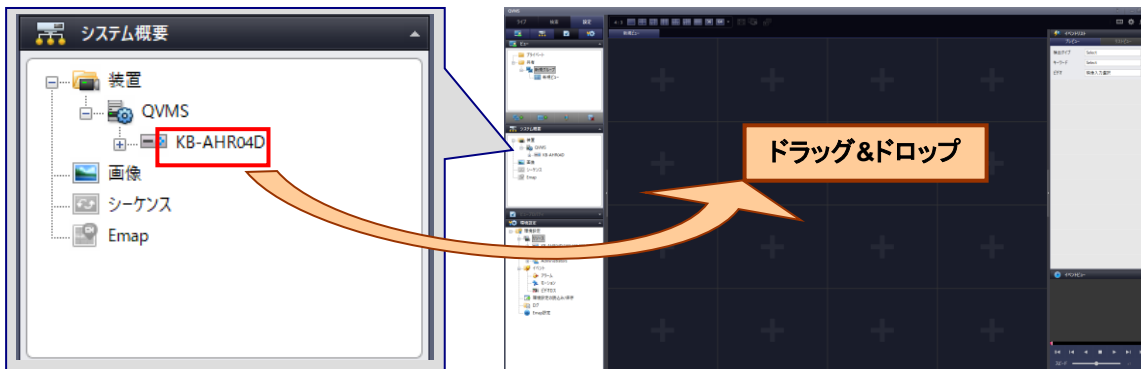


Ⅲ 接続先の設定(5/5)

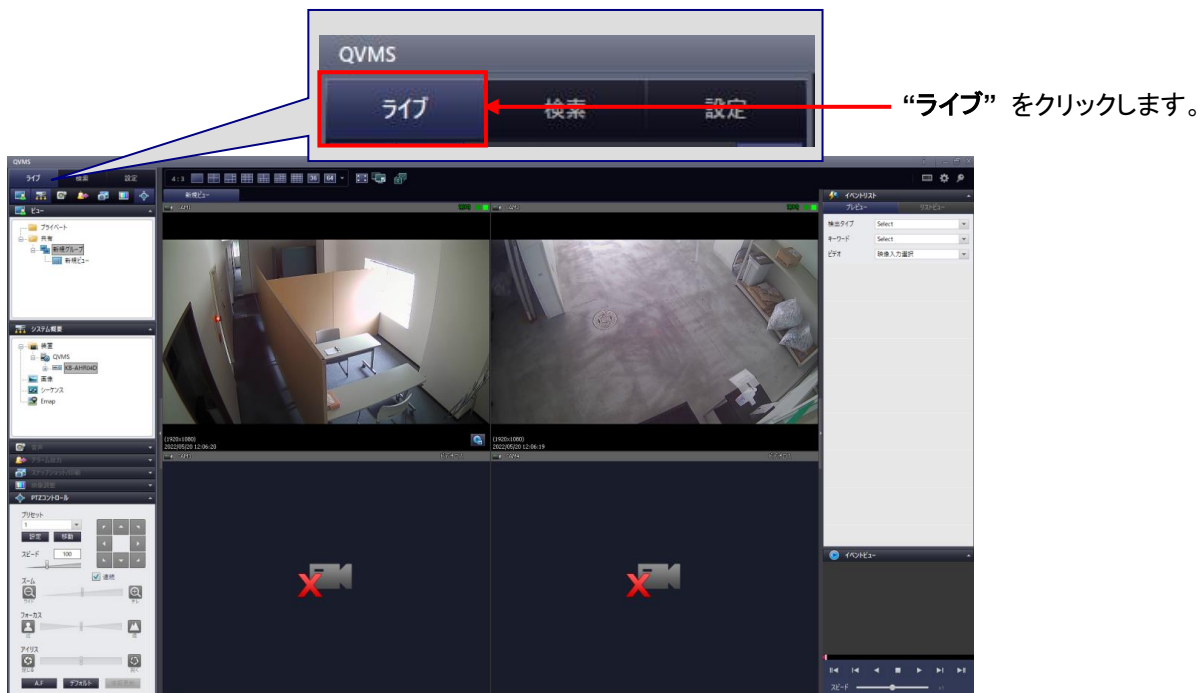
10. 下記のように画面レイアウトが表示されます。



11. 画面左の「システム概要」ウィンドウ内の接続先デバイスを、画面内にドラッグ&ドロップします。



12. 画面左上の“ライブ”をクリックすると、ライブ映像が表示されます。





IV ライブ画面での操作(1/7) 画面表示切替等

ライブ画面を開きます。

検索画面を開きます。

設定画面を開きます。

iPIMSを終了します。

ウィンドウを最大化します。または元のサイズに戻します。

ウィンドウを最小化します。



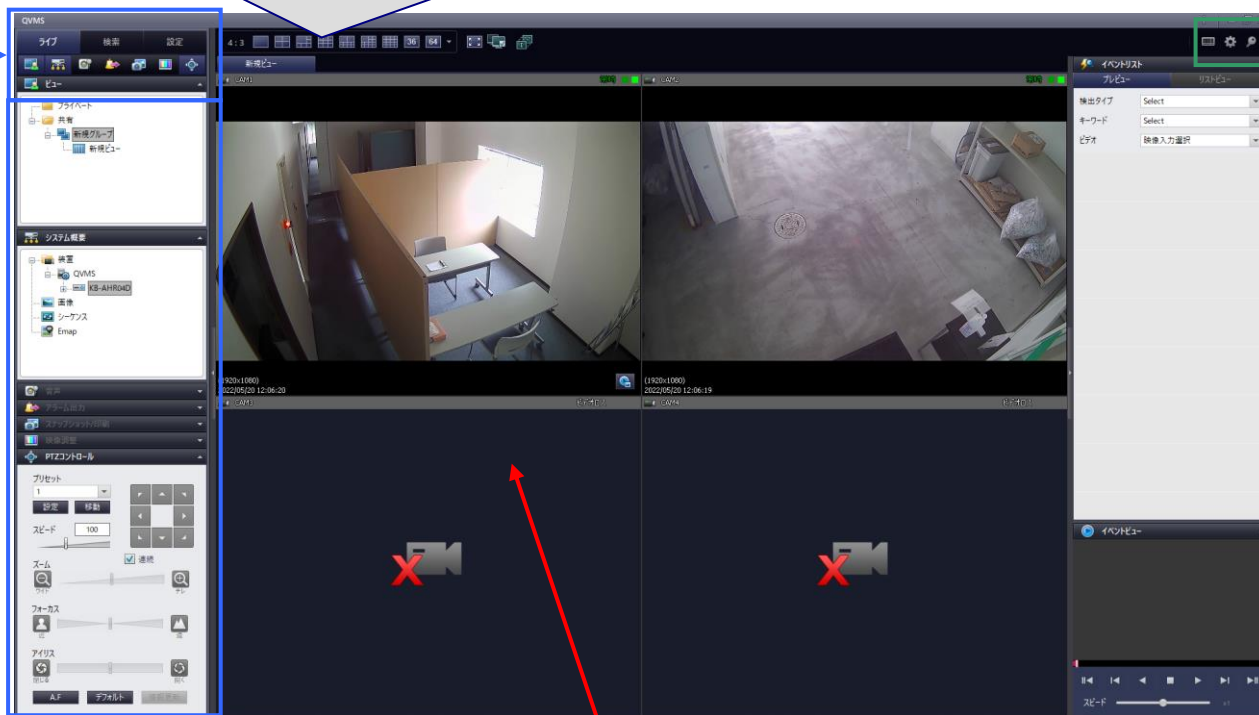
それぞれの設定項目の表示/非表示を切り替えます。

全画面表示に切替えます。
※ウィンドウ表示に戻す際は、キーボードの「Esc」キーを押してください。

2台以上のモニターを使用する際、現在表示している画面をどのモニターに表示するかを選択します。

画面レイアウトを変更します。
変更したいレイアウトのアイコンをクリックして下さい。

緊急録画停止
PCのHDDに録画を行っている場合、クリックすると一時的に録画を停止します。



ビュー選択やPTZ操作などをおこないます。

カメラ映像をドラッグ&ドロップすると、そのCHのカメラの位置を交換することができます。





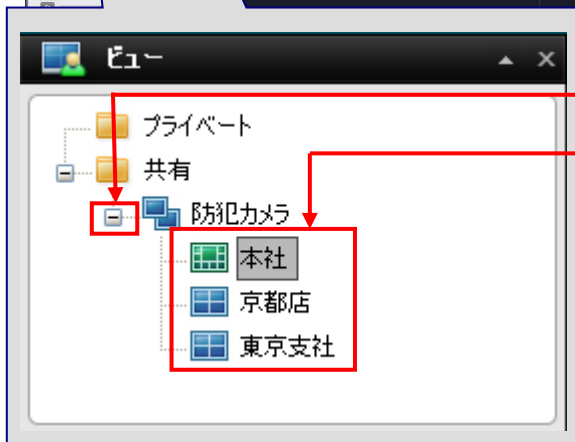
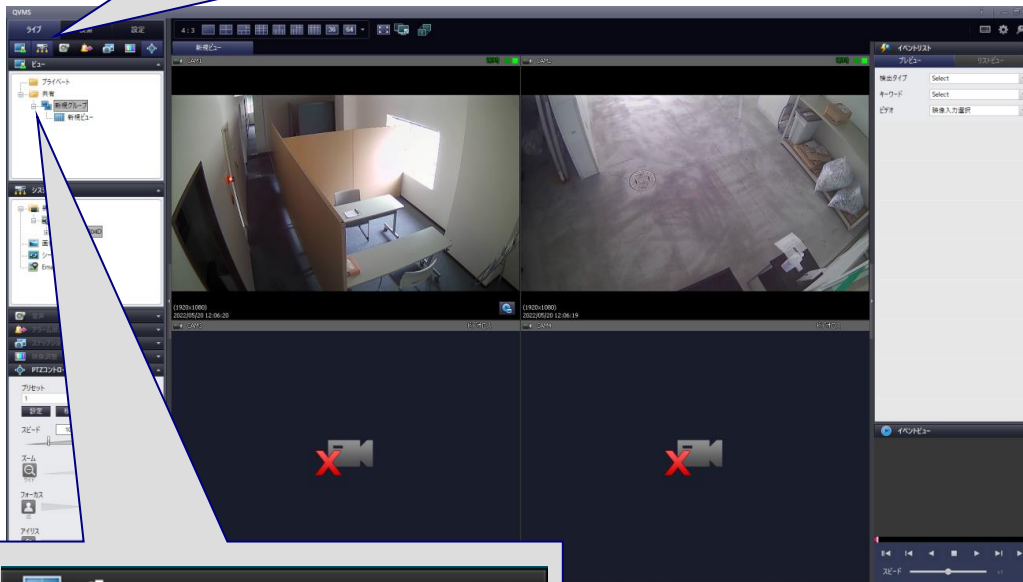
IV ライブ画面での操作(2/7) ビュー選択

1. ビュー選択

登録したビューの中から、ライブ表示するビューを選択します。



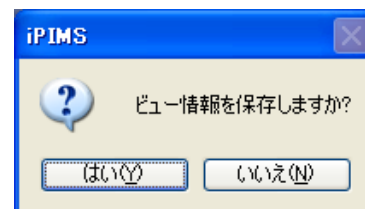
ビューアイコンをクリックし、色のついた状態にします。



グループ内のビュー一覧を開きます。

作成したビュー一覧が表示されます。
クリックするとビューが画面に表示されます。

ビュー変更時、右のようなメッセージが表示されます。
ビューのレイアウトを変更(CH入替え等)を保存するには
“はい”を、保存しない場合は“いいえ”を選択してください。





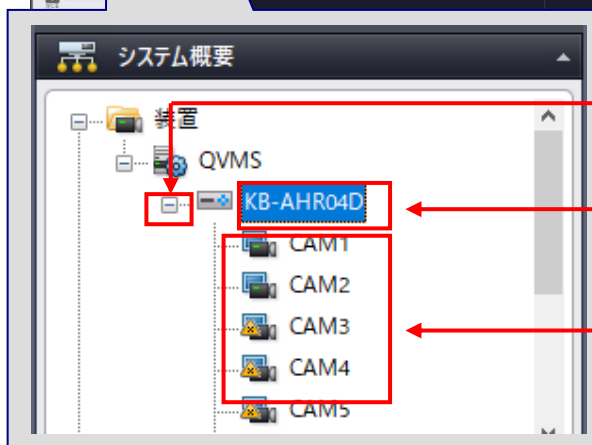
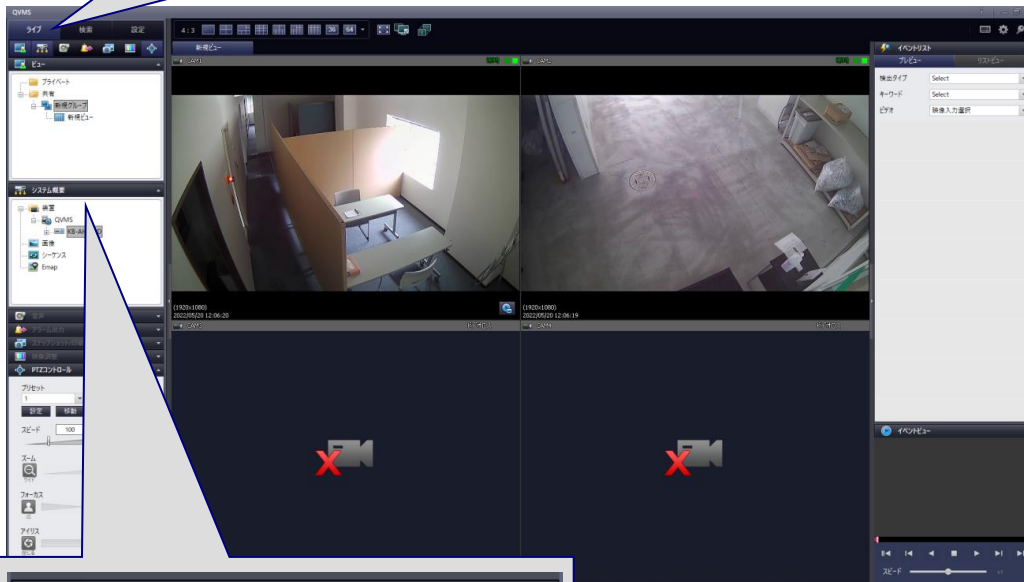
IV ライブ画面での操作(3/7) カメラ選択

2. カメラ選択

表示するカメラを選択します。



システムアイコンをクリックし、色のついた状態にします。



クリックすると、レコーダー内のカメラリストが表示されます。

登録したデバイス名が表示されます。
アイコンを画面内へドラッグ&ドロップすると、すべてのCHの映像が表示されます。

レコーダーに接続されているカメラの一覧が表示されます。
※名称はレコーダー本体で設定したものが表示されます。
それぞれ、画面内へドラッグ&ドロップすると、CHごとに映像を表示します。





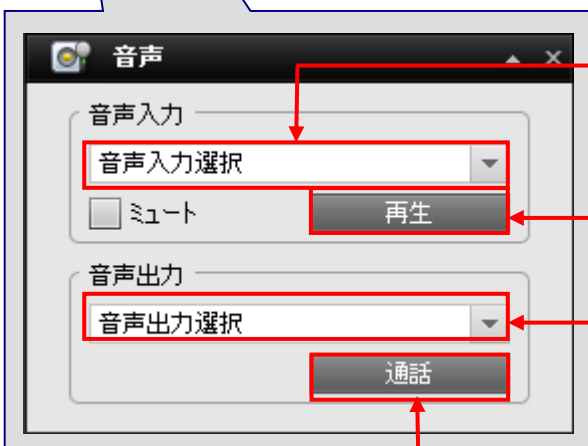
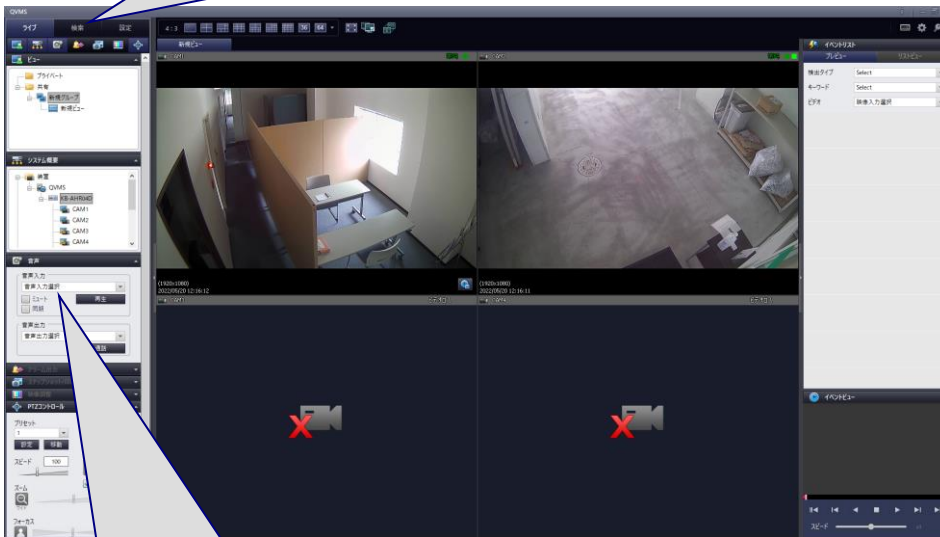
IV ライブ画面での操作(4/7) 音声入出力

3. 音声入出力設定

マイク・スピーカーに関する設定を行います。



音声アイコンをクリックし、色のついた状態にします。



レコーダーに音声を入力している場合、その音声を聞くことができます。(同時に複数の音声を聞くことはできません。)

プルダウンメニューから、再生したい音声入力ポートを選択して下さい。

クリックすると選択した音声を再生します。

スピーカーを接続している場合、PC側のマイクから音声を出力することができます。

プルダウンメニューから、出力先のレコーダーの音声出力ポートを選択して下さい。

クリックするとPC側の音声を出力します。





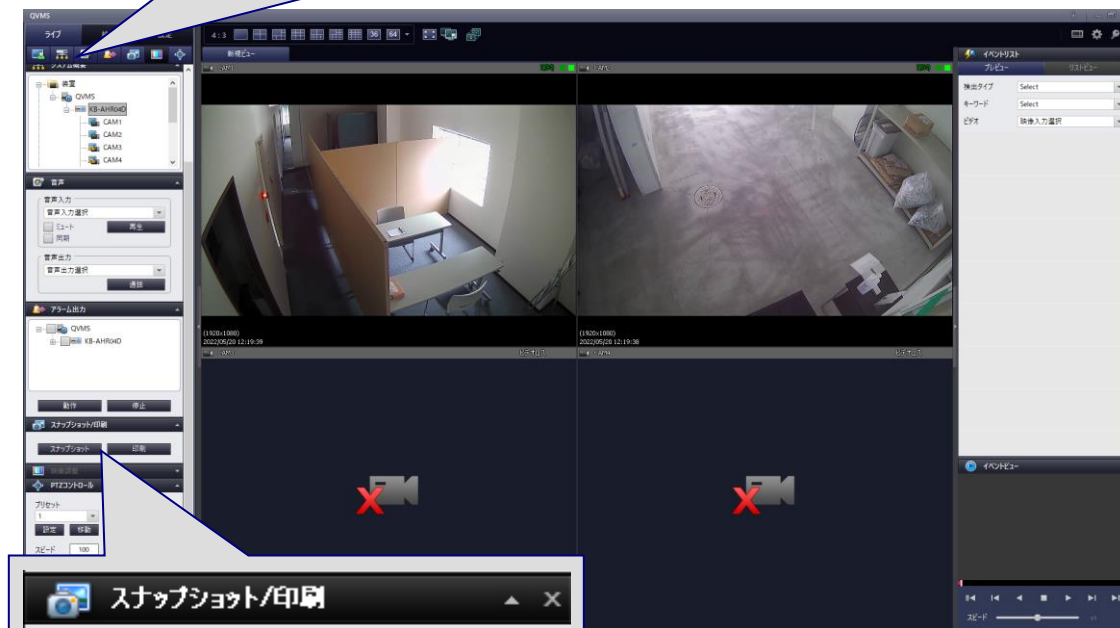
IV ライブ画面での操作(5/7) スナップショット

4. スナップショット

マイク・スピーカーに関する設定を行います。



スナップショットアイコンをクリックし、色のついた状態にします。



画面全体のスナップショットを印刷します。

画面全体のスナップショットを保存します。
クリックすると下のようなウィンドウが表示されます。



①画像のファイル形式を選択します。
※通常は“JPEG”を推奨します。

②保存先のディレクトリとファイル名を設定します。

③“OK” をクリックしてスナップショットを保存します。





IV ライブ画面での操作(6/7) 映像調整

5. 映像調整

カメラ映像の明るさやコントラストを調整します。



映像調整アイコンをクリックし、色のついた状態にします。



映像調整をおこなうカメラをクリックします。クリックすると、アクティブ状態(カメラ映像の周りが緑枠で囲まれた状態)になります。



カメラ映像の輝度を調整します。バーの間の丸いアイコンをドラッグ & ドロップして調整します。

カメラ映像のコントラストを調整します。バーの間の丸いアイコンをドラッグ & ドロップして調整します。

カメラ映像のシャープネスを調整します。バーの間の丸いアイコンをドラッグ & ドロップして調整します。

変更前の設定値に戻します。





IV ライブ画面での操作(7/7) PTZ操作

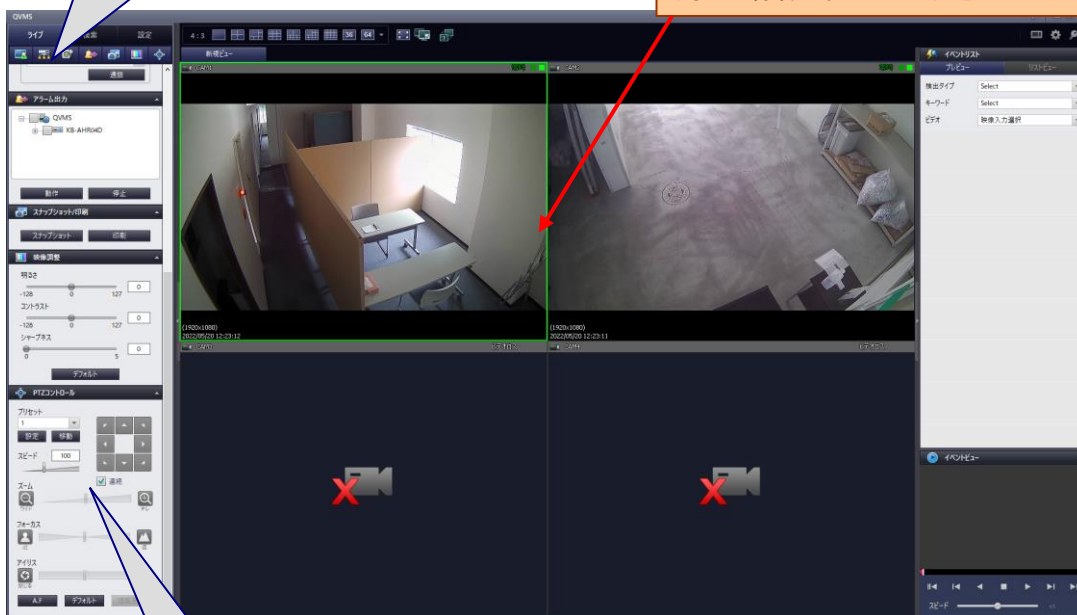
6. PTZ操作

PTZ対応カメラのPTZ操作をおこないます。



PTZアイコンをクリックし、色のついた状態にします。

映像調整をおこなうカメラをクリックします。クリックすると、アクティブ状態(カメラ映像の周りが緑枠で囲まれた状態)になります。



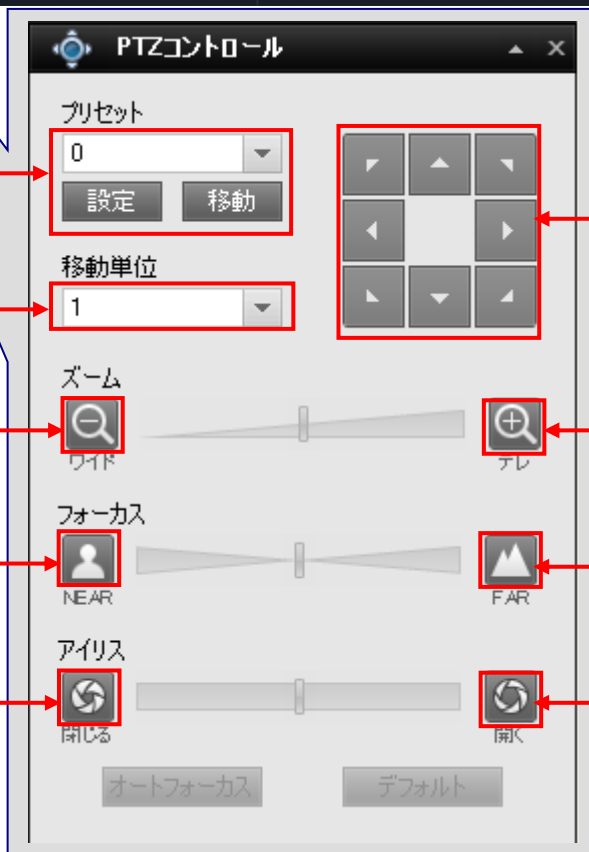
プリセットの登録:
プリセット番号を選択し、“設定”をクリックします。
プリセットの移動:
登録したプリセット番号を選択し、“移動”をクリックします。

パン・チルト操作で一度に移動する量を設定します。

ズームアウトを行います。

フォーカスをNEAR(手前)に動かします。

アイリスを閉じて、映像を暗く調整します。



パン・チルトを操作します。矢印の方向にカメラ向きが移動します。

ズームアップを行います。

フォーカスをFAR(奥)に動かします。

アイリスを開いて、映像を明るく調整します。





V 検索・再生 (1/2)

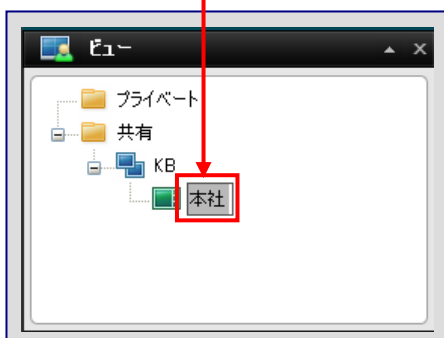
1. 検索画面を開きます。



画面左上の“検索”タブをクリックします。
→ 検索・再生画面が表示されます。

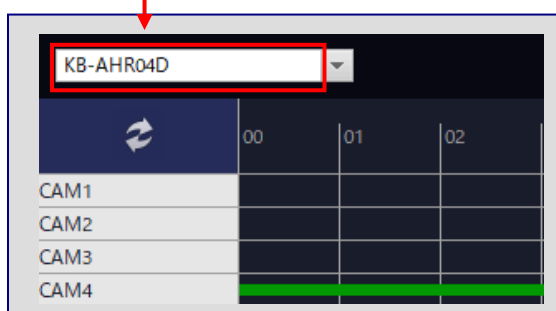
2. 表示するビューを選択します。

ビューをクリックします。



3. 映像を検索するDVR(NVR)を選択します。 ※検索・再生は、DVR1台ずつ行います。 複数のDVRの映像を同時に再生することはできません。

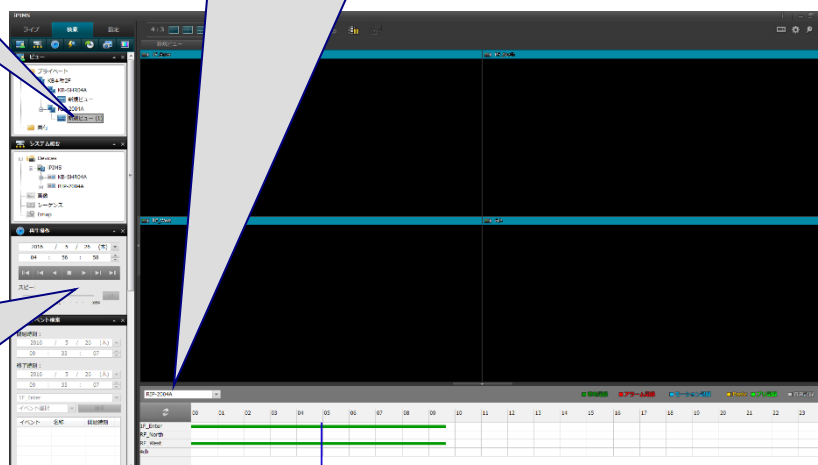
画面下方のプルダウンをクリックし、
リストからDVR名を選択します。



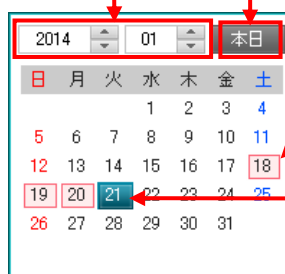
4. 検索する日付を選択します。



クリックするとカレンダーが表示されます。
カレンダー上で、検索する日付を選択してください。



年月を選択します。 本日の日付を選択します。



録画映像のある日付が赤枠で表示されます。

選択中の日付が緑色で表示されます。

カレンダー上から日付をクリックして選択してください。

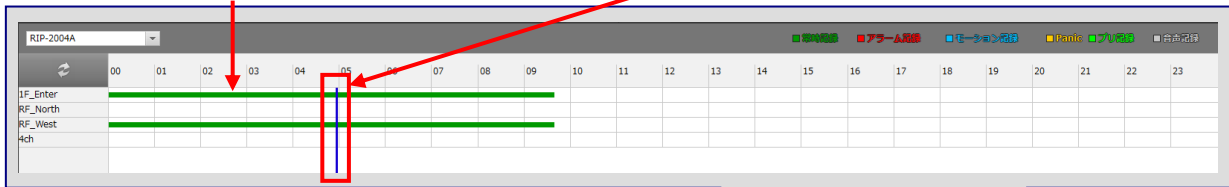




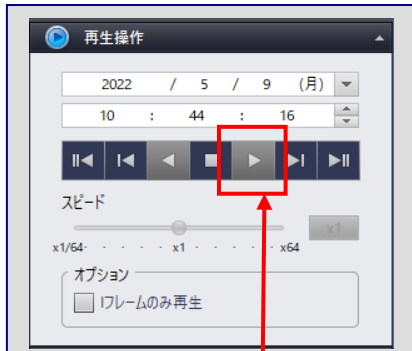
V 検索・再生 (2/2)

5. 画面下のタイムバーから、再生する時刻を選択します。

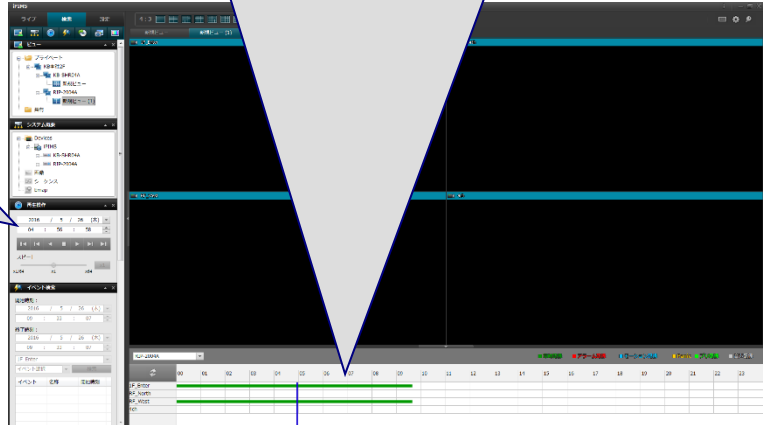
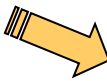
録画映像のある時間帯に色がついて表示されます。バーをドラッグ&ドロップし、再生時刻を選択します。



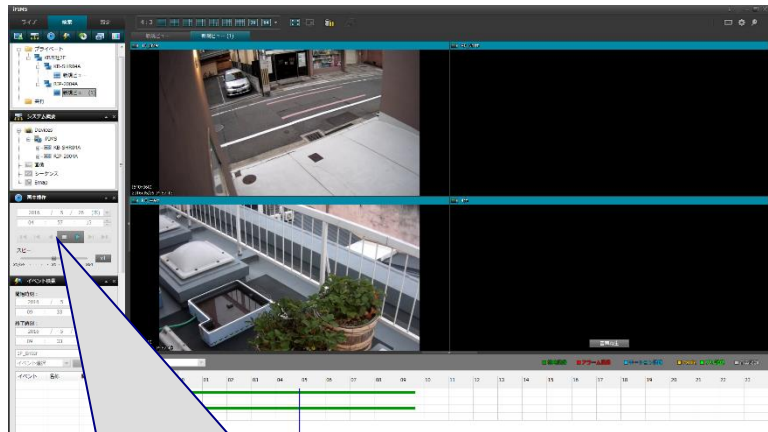
6. 映像を再生します。



再生アイコンをクリックすると映像が再生されます。



7. 再生速度などの調整を行います。



カレンダーが表示され、日付を選択します。

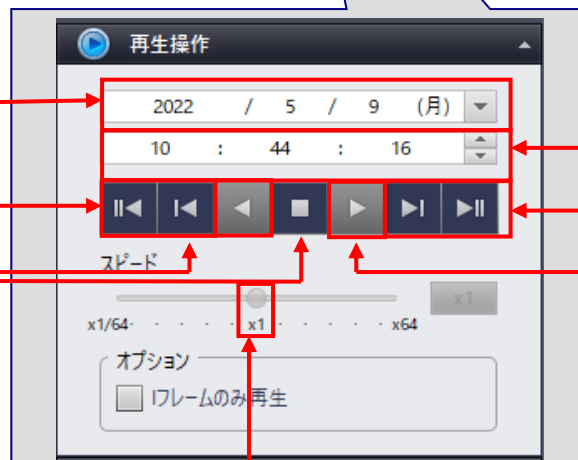
時刻を選択します。

1フレーム前に戻します。

1フレーム送ります。

逆方向に再生します。
再生を一時停止します。

順方向に再生します。



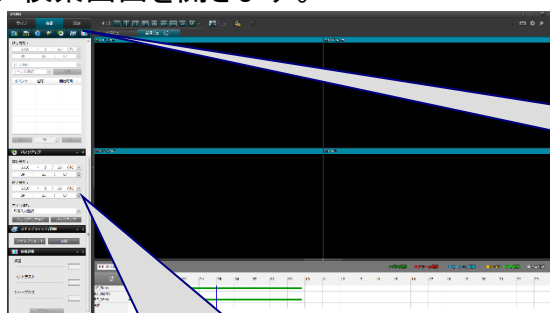
左右にドラッグ&ドロップすると、再生速度が変化します





VI バックアップ

1. 検索画面を開きます。



画面左上の“検索”タブをクリックします。

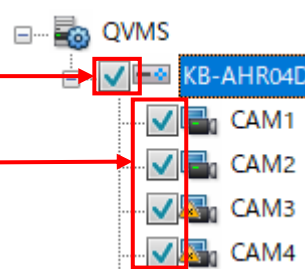


2. バックアップの実行



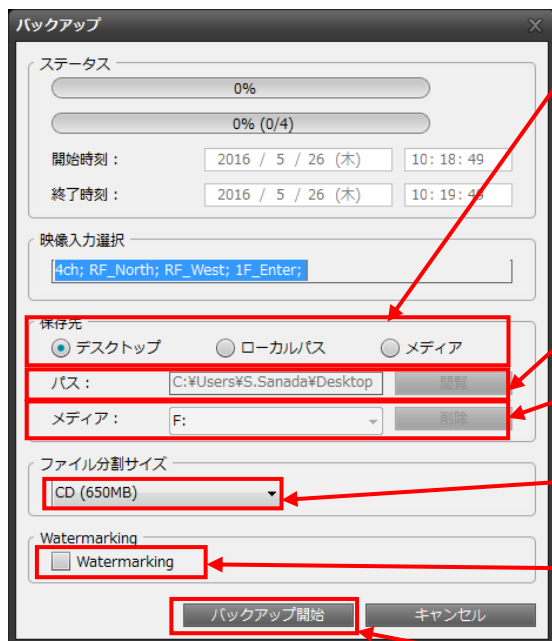
- ① 開始時刻を指定します。
※日付選択のカレンダー操作については再生手順を参照してください。
- ② 終了時刻を指定します。
※長時間のバックアップは、PCがフリーズする場合があります。1時間程度を目安に終了時間を指定してください。
- ③ バックアップするカメラCHを選択します。
クリックすると下のようなウィンドウが表示されます。

DVR名にチェックを入れると、すべてのカメラCHをバックアップします。



カメラ名にチェックを入れると、そのカメラCHをバックアップします。
(複数選択可)

④ “バックアップ” アイコンをクリックします。



- ⑤ バックアップ映像の保存先を選択します。
デスクトップ : デスクトップに直接保存します。
ローカルパス : フォルダを選択して保存します。
メディア : CDやDVDなどに保存します。

※”ローカルパス”を選択した場合、保存先のフォルダパスを選択します。

※”メディア”を選択した場合、保存先のドライブを選択します。
「削除」をクリックすると、そのドライブをフォーマットします。

※1つのファイルの最大サイズを選択します。
長時間の映像の場合、ファイルが分割されます。

⑥ バックアップ映像に不正コピー防止機能を追加します。

- ⑦ バックアップを実行します。
※バックアップ映像は、Windows Media Playerで再生できます。





VII ログインパスワードの変更 (1/3)

※ 安全のため、ログインパスワードを変更してください。

1. 「環境設定」内の「ユーザーアカウント」をクリックします。

2. 「ユーザーアカウントグループリスト」の中の「追加」をクリックします。

3. 追加するグループの設定をします。

グループ名を任意に入力します。
例) 新規グループ

ユーザーが操作できる権限を制限することができます。
特に制限をおこなわない場合、すべての項目にチェックを入れてください。

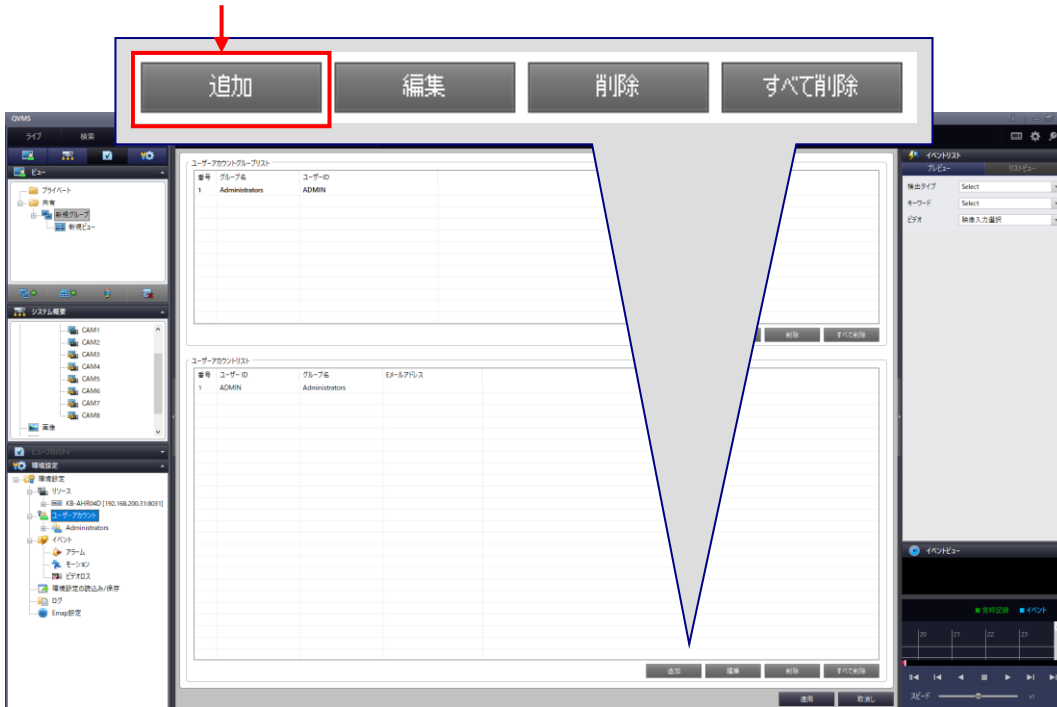
“OK” をクリックして設定を完了します。
→「ユーザーアカウントグループリスト」にグループが追加されます。





VII ログインパスワードの変更 (2/3)

4. 「ユーザーアカウント」の中の「追加」をクリックします。



5. 追加するユーザーIDの設定をします。

グループ名: 先ほど作成したグループ名を選択します。

ユーザーID*: 作成するアカウント名を任意に入力します。

パスワード*: 設定するパスワードを任意に入力します。

パスワード(確認)*: 上で設定したパスワードを再度入力します。

説明: アカウントについての備考を入力します。

“OK” をクリックして設定を完了します。
→「ユーザーアカウントリスト」にユーザーIDが追加されます。





Ⅶ ログインパスワードの変更 (3/3)

6. 初期ユーザーIDのパスワードを変更します。

① ユーザーアカウントリストの中から“ADMIN”をクリックします。

番号	ユーザー ID	グループ名	Eメールアドレス
1	ADMIN	Administrators	
2	KBDevice	新規グループ	

追加 編集 削除 すべて削除

② “編集”をクリックします。

③ パスワードを変更します。

ユーザー修正

グループ名 Administrators

ユーザー ID* ADMIN

パスワード*

パスワード(確認)*

Eメールアドレス

電話番号

説明 管理者

OK キャンセル

パスワード: 設定するパスワードを任意に変更します。

パスワード(確認): 上で設定したパスワードを再度入力します。

説明: アカウントについての備考を入力します。

“OK”をクリックして設定を完了します。

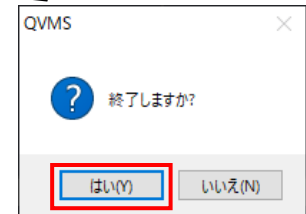




VIII ソフトの終了・再開

■ QVMSを終了します。

① 画面右上の「閉じる」アイコンをクリックします。



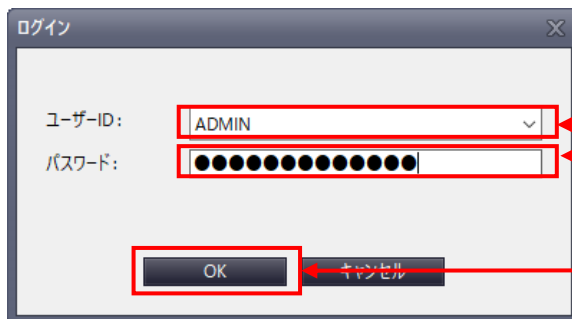
② 確認メッセージが表示されるので、「はい」を選択します。
→iPIMSが終了します。

■ QVMSを再開します。

① デスクトップ上のショートカットをダブルクリックで開きます。



② パスワードを変更した場合、新たなユーザーIDとパスワードを入力してログインします。



ユーザーIDを入力します。

パスワードを入力します。

“OK” をクリックしてログインします。

③ ログインすると、QVMSが起動します。

